

## 国際原子力機関（ＩＡＥＡ）第５２回総会の結果概要

平成２０年１０月２１日  
外務省不拡散・科学原子力課

### 1. 概要

- (１) ９月２９日より１０月４日まで、ウィーンにおいてＩＡＥＡ（国際原子力機関）第５２回総会が開催され、我が国政府代表として、松田元内閣府科学技術担当大臣が出席した。
- (２) 松田政府代表は、総会初日に一般演説を行い、原子力の平和的利用及び核不拡散に関する我が国の政策や取組みを包括的に表明するとともに、我が国が次期ＩＡＥＡ事務局長選挙に天野之弥ウィーン代表部大使を擁立することを決定したことをＩＡＥＡの場で初めて表明し、天野大使に対する支持を要請した。
- (３) また、松田政府代表は、ボドマン米国エネルギー省長官をはじめとする主要国代表との会談などを行った。
- (４) 新規加盟国としてレソト、オマーン及びパプアニューギニアが承認された。

### 2. 主要な議題

- (１) 北朝鮮
  - (イ) 「ＩＡＥＡと北朝鮮との間のＮＰＴ保障措置協定の実施」に関する決議がコンセンサスで採択された。
  - (ロ) 本決議は、我が国を含む８か国（豪州、カナダ、フランス、ドイツ、韓国、英国、米国）が提案国となり、これにその他４４か国が共同提案国に加わり採択に至ったものである。
  - (ハ) 本決議においては、六者会合プロセスへの支持、無能力化の現状に対する懸念とその早期再開及び完了の重要性、検証体制の早期設立への期待等について言及された。
- (２) 中東におけるＩＡＥＡ保障措置の適用
  - すべての域内国に対してＮＰＴへの加入を求めるとともに、ＩＡＥＡ保障措置に関連する国際的な義務の遵守を求める内容の決議が、我が国を含む賛成多数で採択された。
- (３) 保障措置の強化
  - 包括的保障措置協定及び追加議定書を締結していない国に対して、可及的速やかに署名・締結を行うよう求めること等を内容とする決議が採択された。包括的保障措置の締結をすべての国に求める部分の分割投票に加え、決議全体も投票に付されたが、賛成多数（含む我が方）で採択された。

(4) 原子力安全

原子力、放射線及び輸送の安全と廃棄物の処理に関する国際協力を強化するための方策に関する決議が採択された。この決議には、我が国による①柏崎刈羽原発への IAEA 調査団受入、②耐震安全に関する会合のホスト、③ IAEA 国際耐震安全センター設置の提案及び④特別拠出を評価するとの記述も盛り込まれている。

(5) 核セキュリティ

昨年発効した核テロ防止条約の未締結国に早期締結を要請するとともに、核物質防護条約の普遍化及びその改正の締結を促進すること等を内容とする決議が採択された。

(6) 原子力技術

原子力発電分野として、原発導入等の際しての核不拡散、原子力安全及び核セキュリティ確保の重要性に言及し、非発電分野として、マラリア蚊制御のための不妊虫放飼技術 (SIT) の開発、アフリカ連合ツェツェ蠅及び眠り病撲滅キャンペーン (AU-PATTEC)、中小型炉を利用した飲料水生産及び食料・農業分野における支援強化に関して、IAEA の活動の重要性等を謳った決議が採択された。

(7) 技術協力

IAEA 技術協力活動を強化する必要性を強調し、すべての加盟国に対して技術協力基金へ完全かつ遅滞なく拠出するよう求めること等を内容とする決議が採択された。

(了)

国際原子力機関（ＩＡＥＡ）加盟国（２００８年１０月現在１４５か国）

注１：網掛け太字・・・２００８年１０月時点の理事国。

注２：下記地域ブロックはＩＡＥＡで一部調整中であり、現段階では目安。

<極東(6)>

韓国  
中国  
日本  
フィリピン  
ベトナム  
モンゴル

<東南アジア・太平洋(9)>

インドネシア  
オーストラリア  
シンガポール  
タイ  
ニュージーランド  
パラオ  
マーシャル諸島  
マレーシア  
ミャンマー

<中東・南アジア(21)>

アフガニスタン  
アラブ首長国連邦  
イエメン  
イスラエル  
イラク  
イラン  
インド  
ウズベキスタン  
カザフスタン  
カタール  
キルギスタン  
クウェート  
サウジアラビア  
シリア  
スリランカ  
タジキスタン  
ネパール  
パキスタン  
バングラデシュ  
ヨルダン  
レバノン

<東ヨーロッパ(23)>

アゼルバイジャン  
アルバニア  
アルメニア  
ウクライナ  
エストニア  
グルジア  
クロアチア  
スロバキア  
スロベニア  
セルビア  
チェコ  
ハンガリー  
ブルガリア  
ベラルーシ  
ポーランド  
ボスニア・ヘルツェゴビナ  
マケドニア  
モルドバ  
モンテネグロ  
ラトビア  
リトアニア  
ルーマニア  
ロシア

<西ヨーロッパ(24)>

アイスランド  
アイルランド  
イギリス  
イタリア  
オーストリア  
オランダ  
ギリシャ  
キプロス  
スイス  
スウェーデン  
スペイン  
デンマーク  
ドイツ  
トルコ  
ノルウェー  
バチカン  
フィンランド  
フランス  
ベルギー  
ポルトガル  
マルタ  
モナコ  
リヒテンシュタイン  
ルクセンブルグ

<アフリカ(38)>

アルジェリア  
アンゴラ  
ウガンダ  
エジプト  
エチオピア  
エリトリア  
ガーナ  
ガボン  
カメルーン  
ケニア  
コートジボアール  
コンゴ民主共和国  
ザンビア  
シエラレオネ  
ジンバブエ  
スーダン  
セイシェル  
セネガル  
タンザニア  
チャド  
中央アフリカ  
チュニジア  
ナイジェリア  
ナミビア  
ニジェール  
ブルキナファソ  
ベナン  
ボツワナ  
マダガスカル  
マラウイ  
マリ  
南アフリカ  
モザンビーク  
モーリシャス  
モーリタニア  
モロッコ  
リビア  
リベリア

<北アメリカ(2)>

カナダ  
米国

<ラテンアメリカ(22)>

アルゼンチン  
ウルグアイ  
エクアドル  
エルサルバドル  
キューバ  
グアテマラ  
コスタリカ  
コロンビア  
ジャマイカ  
チリ  
ドミニカ共和国  
ニカラグア  
ハイチ  
パナマ  
パラグアイ  
ブラジル  
ベネズエラ  
ベリーズ  
ペルー  
ボリビア  
ホンジュラス  
メキシコ

注：２００８年１０月の  
ＩＡＥＡ総会において、  
レソト、オマーン、パプ  
アニューギニアの３か国  
の加盟が新たに承認され  
た（今後所要の手続きを  
経た上で正式に加盟）。

（了）